



# 2024年2月期 第1四半期決算説明資料

2023年7月14日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

- | 1 2024年2月期 1Q決算ハイライト
- | 2 2024年2月期 1Q決算詳細
- | 3 Appendix

# 2024年2月期 1Q決算ハイライト



## 売上高

前年同期比

**115.8** 億円

**+44.3** %

- M&Aによりグループ化した企業（6社）が貢献
- 国内事業は、価格改定効果はあるものの、生産の効率化に注力し、微増
- 海外事業は、コロナからの回復により増収

## 調整後営業利益

前年同期比

**5.8** 億円

**+299.7** %

- M&Aによりグループ化した企業（6社）が貢献
- 国内事業は、価格改定、生産効率化の効果により増益
- 海外事業は、売上の回復に伴い増益

(注) 調整後営業利益 = 営業利益 + M&A取得関連費用

## EBITDA

前年同期比

**9.5** 億円

**+143.0** %

- EBITDAは前年同期比143.0%増加

(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費（減価償却、のれん）+ コロナ関連補助金収入 + M&Aにかかる取得費用

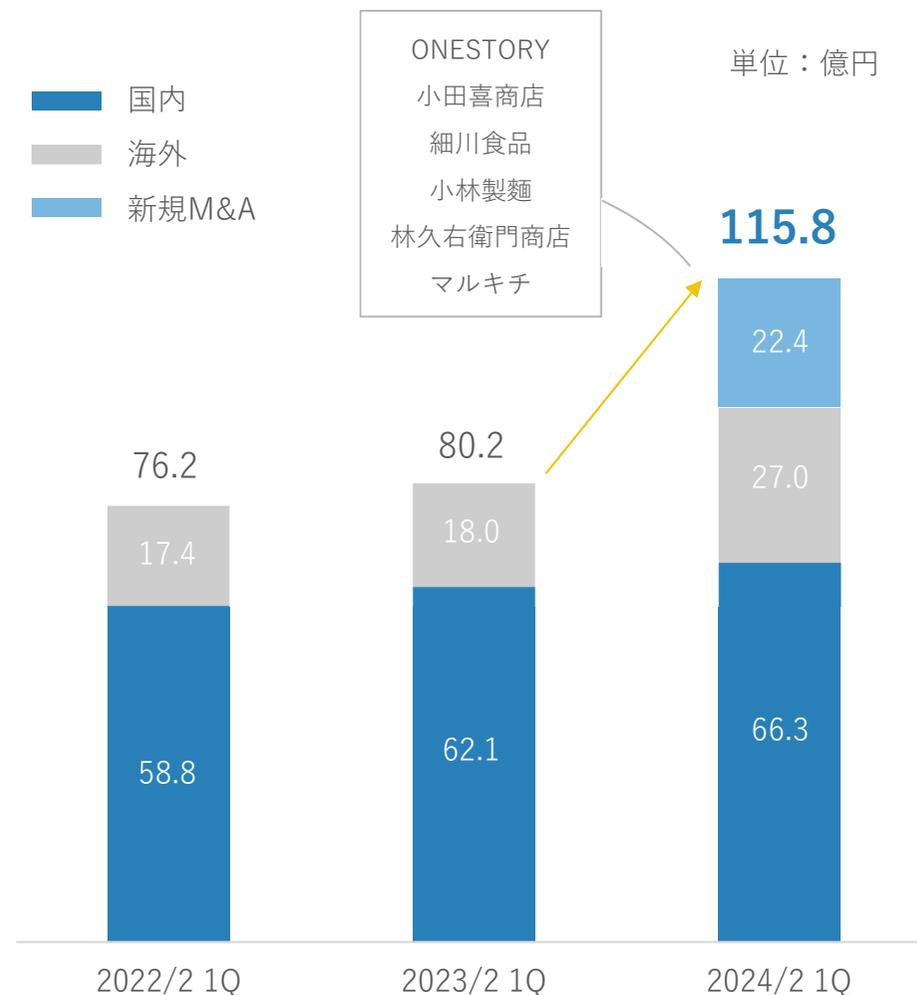
## 新規M&A企業の貢献、海外企業の売上回復により増収

### 売上高

前年同期比

**115.8** 億円 **+44.3** %

- 新たにM&Aにより加わった6社（ONESTORY、小田喜商店、細川食品、小林製麺、林久右衛門商店、マルキチ）により増収。
- 国内事業は、販売事業においては、既存販売先へ営業を強化したことで増収となり、製造事業においては、価格改定による増収効果はあったものの、生産効率化に注力したことで若干の増収となった。
- 海外事業は、新型コロナウイルスの影響が減少したことで、販売事業、製造事業共に増収となる。特に、シンガポールにおいて観光客数が回復し、ホテル需要の増加に伴いホテル向けに水産加工品を販売するPacific Sorbyは大幅に増収となる。また、厨房機器の製造販売を行うNKRもシンガポール、マレーシアの経済回復によりホテル、飲食店向けの売上が回復し、大幅に増収となった。



## M&A取得関連費用を加算した調整後営業利益は5.8億円となり前年同期比+299.7%

### 調整後営業利益

前年同期比

**5.8** 億円 **+299.7** %

(注) 調整後営業利益 = 営業利益 + M&A取得関連費用

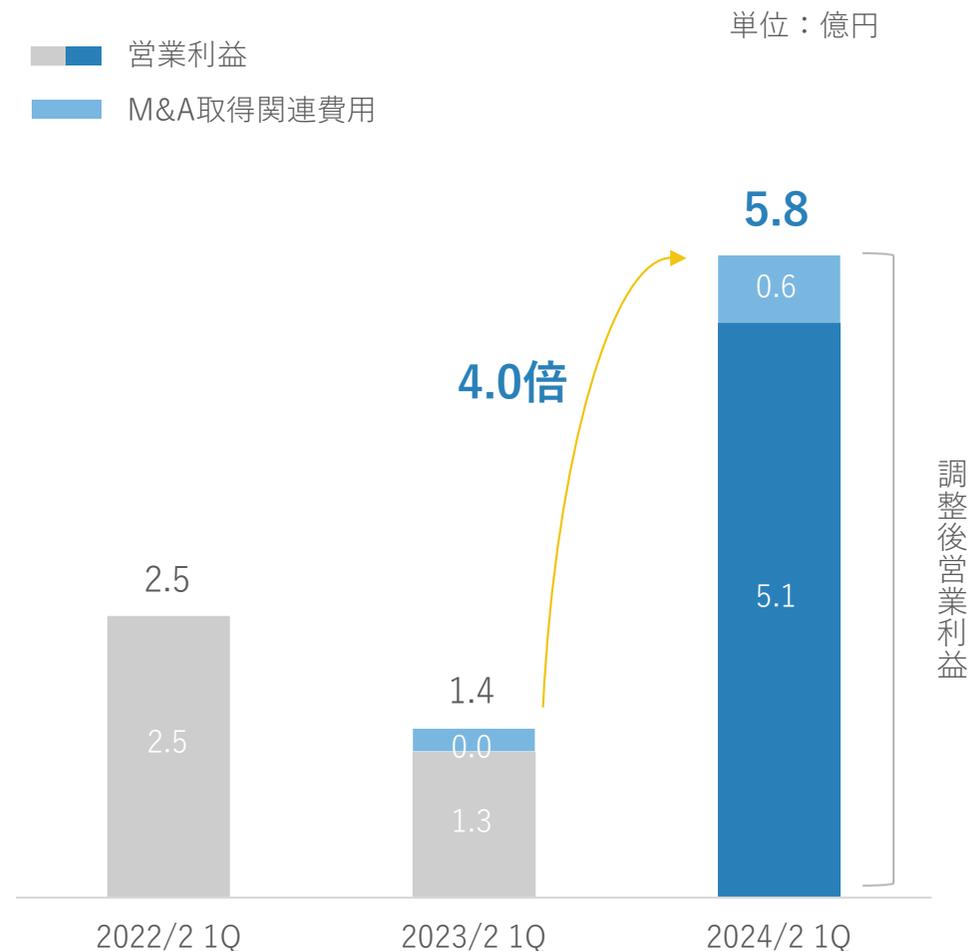
- 新たにM&Aにより加わった企業（特にマルキチ）が大きく貢献。
- 国内事業は、原材料価格高騰に伴い価格改定を行った効果や、利益重視の戦略により不採算取引の停止、生産品目の削減を図ったことで増益となった。
- 海外事業は、コロナからの回復により売上が増加したことで増益となった。
- 一時費用であるM&A取得関連費用 68百万円を計上（前年同期比+62百万円）。

### 営業利益

前年同期比

**5.1** 億円 **+268.4** %

- M&A取得費用を考慮（加算）しない営業利益は、前年同期に比べ約3.7倍増加。



経常利益は営業利益が増加したことで増加。為替差益が前年同期比で185百万円減少。

## 経常利益

前年同期比

6.2 億円

+43.1 %

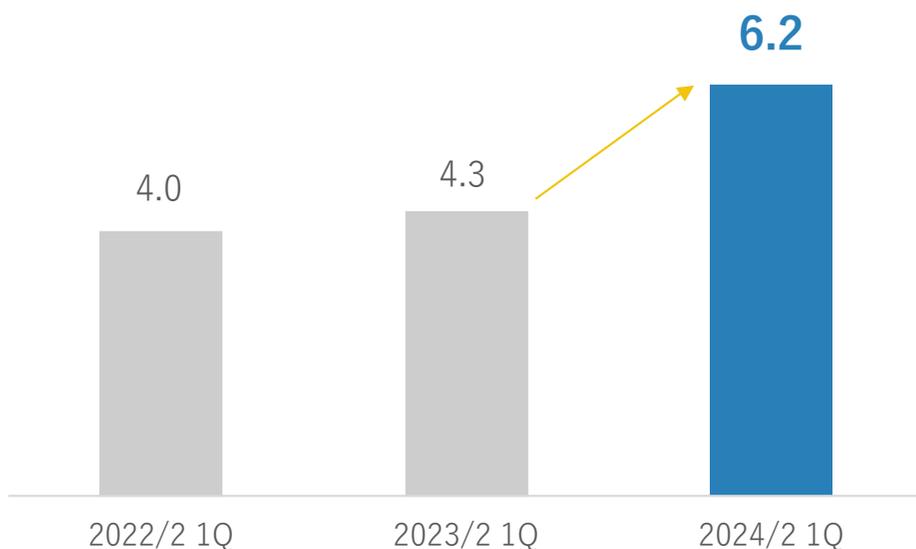
## EBITDA

前年同期比

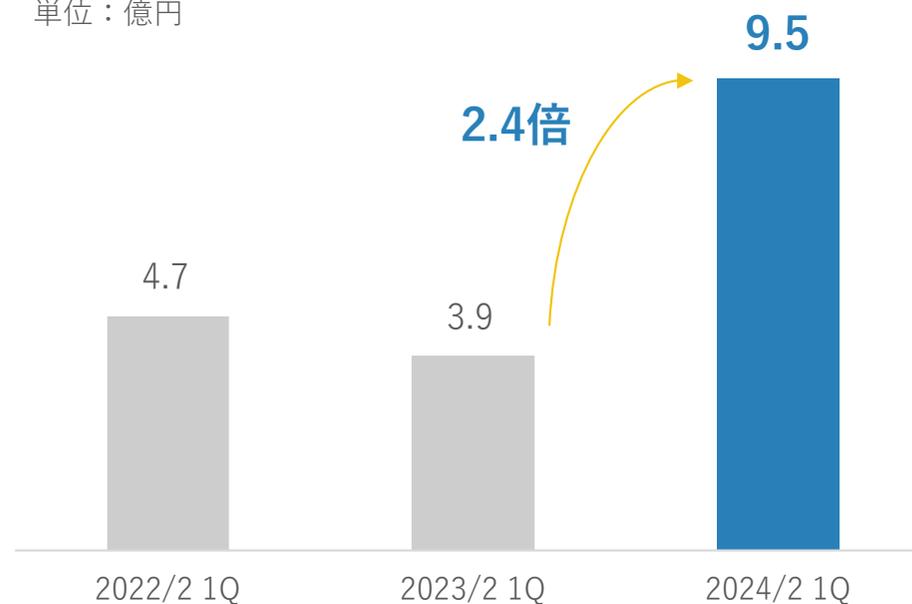
9.5 億円

+143.0 %

単位：億円



単位：億円

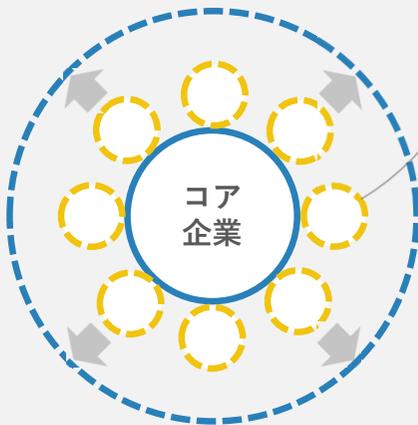


(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&Aにかかる取得費用

業界における核（コア）となる企業をM&Aし、その同業他社のM&Aをすすめることでマーケットシェアを拡大し、シナジー効果により業績を向上させる。  
取り組み事例として、マルキチをコア企業とした北海道の水産企業のグループ化。

## 戦略図

後継者不在や施設の老朽化等により  
事業継続の課題を抱える中小食品企業

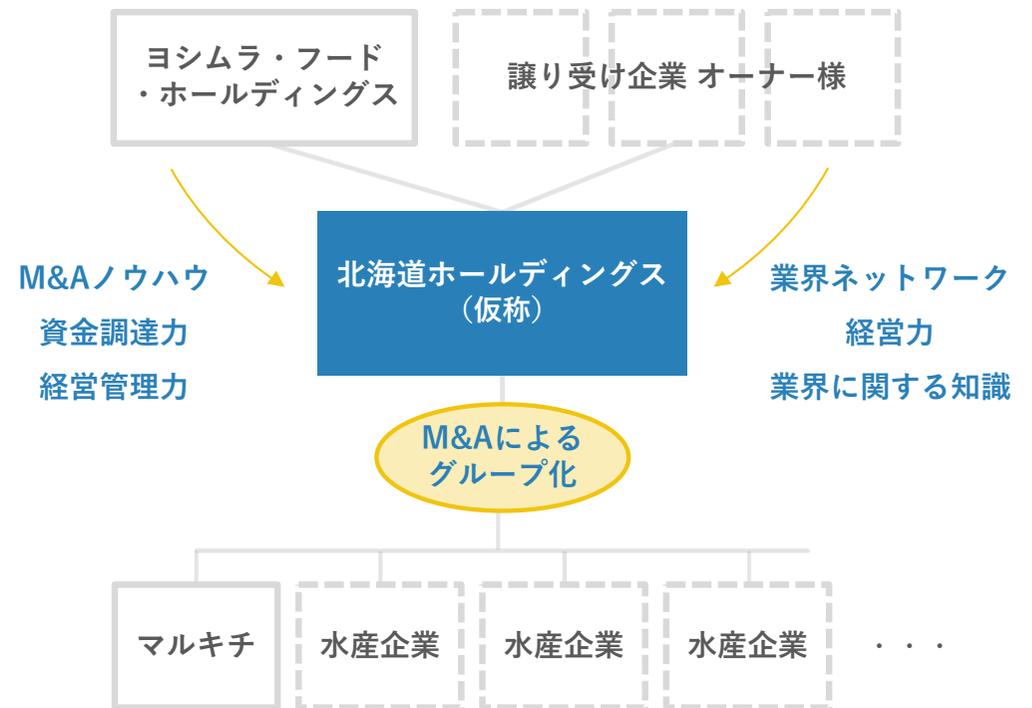


核となる企業を新規M&A

+

同業他社ロールアップ

## 取り組み例



- 人手不足や繁忙/閑散期の激しい水産業界においてロールアップを行うことで、グループで工場を共有することによる生産性の改善やコスト削減を図ることが可能となり、さらにマーケットシェア拡大や設備投資により、競争優位性を確立できる

# 2024年2月期 1Q決算詳細



## 自己資本比率は、M&Aにより借入金が増加したため前期末比▲2.2%

(カッコ内は前期末比)

■ 受取手形及び売掛金 (+4億円)

■ 棚卸資産 (+12億円)

マルキチをグループ化したことによる増加

■ 有形固定資産 (+9億円)

■ のれん (+10億円)

マルキチをグループ化したことによる増加

### 流動資産

204 億円  
(+20億円)

### 固定資産

155 億円  
(+21億円)

### 流動負債

119 億円  
(+8億円)

### 固定負債

134 億円  
(+26億円)

### 純資産

105 億円  
(+7億円)

内) 自己資本 76億円 (+2.7%)

■ 借入金 (+13億円)

マルキチをグループ化したことによる増加

■ 買掛金 (▲7億円)

季節性の仕入が減少したことで減少

■ 長期借入金 (+25億円)

新規M&Aによる借入金の増加

### 自己資本比率

21.3%  
(▲2.2%)

(注) 億円未満は切り捨てて表記しているため、貸借の合計額は一致いたしません。

既存企業のオーガニックな成長に加え、  
新規M&Aによりグループ化した企業の損益取り込みが開始され、**大幅な増収増益**

2023年2月期 1Q

2024年2月期 1Q

前年同期比

単位：百万円

	構成比		構成比		
	2023年2月期 1Q	2023年2月期 1Q	2024年2月期 1Q	2024年2月期 1Q	前年同期比
売上高	8,024	100.0%	11,581	100.0%	+ 44.3%
売上総利益	1,648	20.5%	2,413	20.8%	+ 46.4%
販管費	1,509	18.8%	1,900	16.4%	+ 25.9%
営業利益	139	1.7%	513	4.4%	+ 268.4%
経常利益	434	5.4%	622	5.4%	+ 43.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	290	3.6%	393	3.4%	+ 35.2%
EBITDA	392	4.9%	953	8.2%	+ 143.0%

■ 販管費  
売上の増加に伴い売上高販管費率が減少。新規M&A企業の販管費率が低いことも影響。

■ 為替差益  
2023/2期 1Q 253百万円  
2024/2期 1Q 68百万円  
差額 ▲185百万円

■ 受取保険金  
2024/2期 1Qにおいて、NKRが保険金204百万円を受領したため特別利益に計上

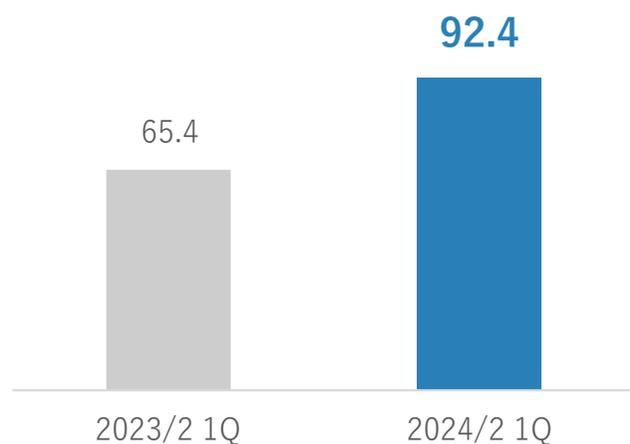
(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&Aにかかる取得費用

単位：億円

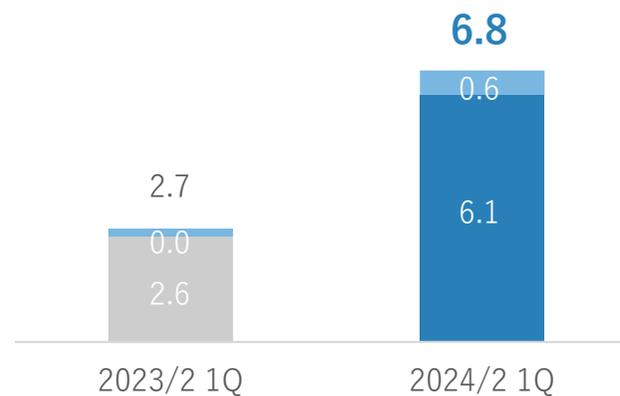
## 売上高

## 調整後営業利益

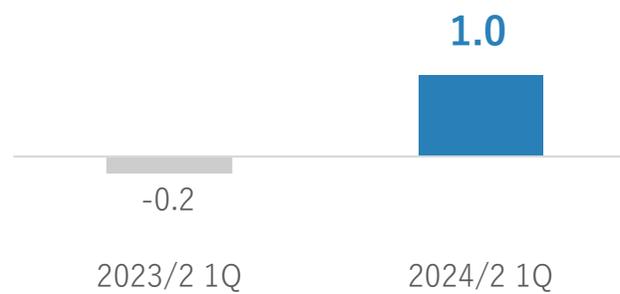
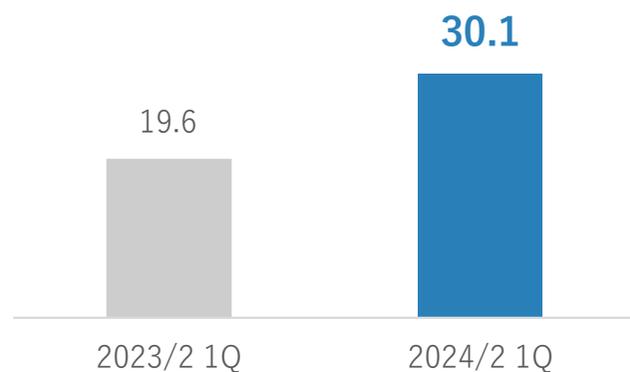
国内



営業利益  
M&A取得関連費用



海外



(注) 売上高は、セグメント間の取引が含まれています。

(注) 営業利益は、のれん償却額等を含めていません。  
調整後営業利益 = 営業利益 + M&A取得関連費用

# 売上高の状況（セグメント別）

## コロナの規制緩和による売上回復、新規M&A企業の貢献により増収

単位：百万円

	2023年2月期 1Q	2024年2月期 1Q	前年同期比
<b>製造事業セグメント</b>	<b>5,904</b>	<b>9,125</b>	<b>+54.6%</b>
マルキチ	-	1,445	-
楽陽食品	1,123	1,233	+9.8%
Pacific Sorby	424	888	+109.2%
NKR	535	838	+56.7%
エスケーフーズ	697	761	+9.2%
オーブン	594	711	+19.6%
その他（16社）	2,736	3,483	+27.3%
<b>販売事業セグメント</b>	<b>2,085</b>	<b>2,376</b>	<b>+14.0%</b>
ヨシムラ・フード	1,213	1,444	+19.0%
Sin Hin	573	788	+37.6%
ジョイ・ダイニング・P	383	364	▲5.0%
<b>その他事業セグメント</b>	<b>34</b>	<b>79</b>	<b>+129.1%</b>
<b>合計</b>	<b>8,024</b>	<b>11,581</b>	<b>+44.3%</b>

- マルキチは今期より連結を開始
- 楽陽食品は価格改定効果と共に販促強化により増収
- Pacific SorbyとNKRはコロナからの回復により大幅に増収
- その他（16社）には、マルキチ以外の新規M&A企業5社を含む
- Sin Hinはコロナからの回復により増収

（注）個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

# Appendix



## MISSION

いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

- 私たちは、人々が、多種多様な選択肢から自分の嗜好に合わせて自由に選択でき、それが尊重される社会こそ、豊かで幸せであると考えます。
- 私たちは、世界中の消費者が、多種多様で高品質な“おいしい”を自由に選択し、それを楽しめる豊かな社会を目指してまいります。

## VISION

地域の“おいしい”を守り、育て、世界へ

- 私たちは、「いつまでもこの“おいしい”を楽しめる社会」を実現するため、日本および世界で大切にされてきた“おいしい”を見つけ、守り、育て、世界へと届けてまいります。
- そのために、私たち独自の“おいしい”を見つける目利き力、“おいしい”を守る事業基盤、“おいしい”を育てる支援機能、“おいしい”を世界へと届ける販売網を構築してまいります。
- その結果として、世界の食文化と多様化、地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなります。

## VALUES

「あなた“らしさ”を大切にします」

- 私たちは、私たちに関わる全ての方のあなた“らしさ”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループで働く社員の“個性”、“新しい発想”、“チャレンジ精神”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“歴史”、“文化”、“社員”、“取引先”、“地域社会”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“強み”を伸ばし、“弱み”を補い合い、共に成長してまいります。
- 私たちは、私たちに関わる全ての人の“らしさ”を大切にした結果、多様な選択肢のある豊かな社会づくりに貢献します。

# 会社概要

■ 社名	株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
■ 設立	2008年3月18日
■ 代表者	代表取締役CEO 吉村 元久
■ 本社	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル18階
■ 資本金	1,114百万円（2023年2月末現在）
■ 主要株主	吉村元久 37%（株式会社MY保有分含む） 国分グループ本社(株) 5.0% 日本たばこ産業(株) 4.4% 他
■ 連結業績	売上高：34,937百万円 経常利益：1,323百万円（ともに、2023年2月期）
■ 従業員数	連結：1,349人 単体： 30人（ともに、2023年2月末現在）
■ 事業内容	食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。 子会社において各種食品の製造・販売。
■ グループ	主要連結子会社：27社
■ 市場	東証プライム（2884）

## 代表取締役CEO

### 吉村 元久 Motohisa Yoshimura

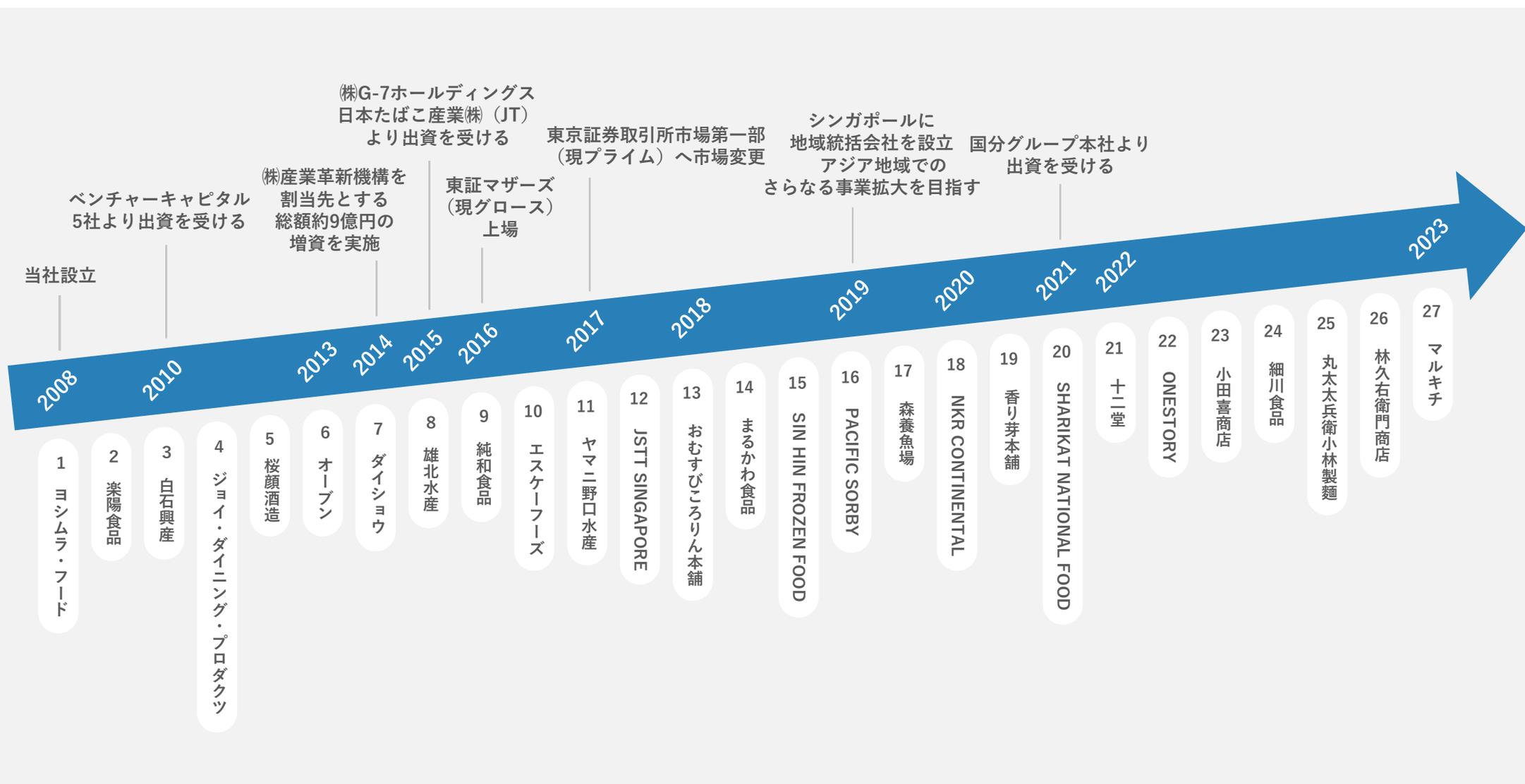


出身地 北海道函館市

最終学歴 1988年3月 一橋大学商学部卒業  
1994年6月 ペンシルバニア大学大学院  
ウォートン校卒業（MBA）

職歴 1988年4月 大和証券株式会社入社  
事業法人部 上場企業の資金調達業務  
1996年7月 同社 資産証券部 課長代理  
資産の証券化業務  
1997年10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社  
事業法人部 エグゼクティブディレクター  
コーポレートファイナンス業務  
2008年3月 当社 代表取締役（現任）

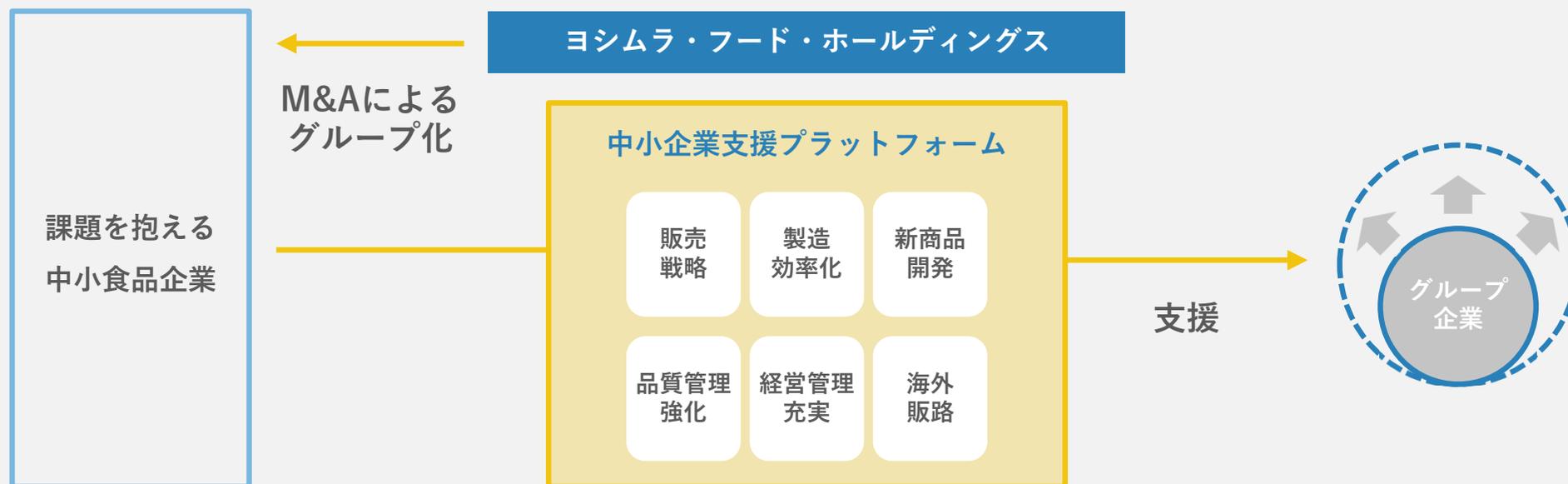
## 中小食品企業のM&Aと 当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、  
当社は**2つの成長エンジン**を有する

## 1. グループ企業の拡大による成長

## 2. 既存事業の業容拡大による成長



## グループ会社を機能別に統括することで、相互補完・相互成長を図る仕組み

ヨシムラ・フード・ホールディングス

### HD統括

#### 【中小企業支援プラットフォーム】

セールス・マーケティング

販売戦略

商品開発

商品戦略・新商品

生産管理

効率化

購買・物流

コストダウン

品質管理

安心安全

経営管理

経営効率化

海外販路

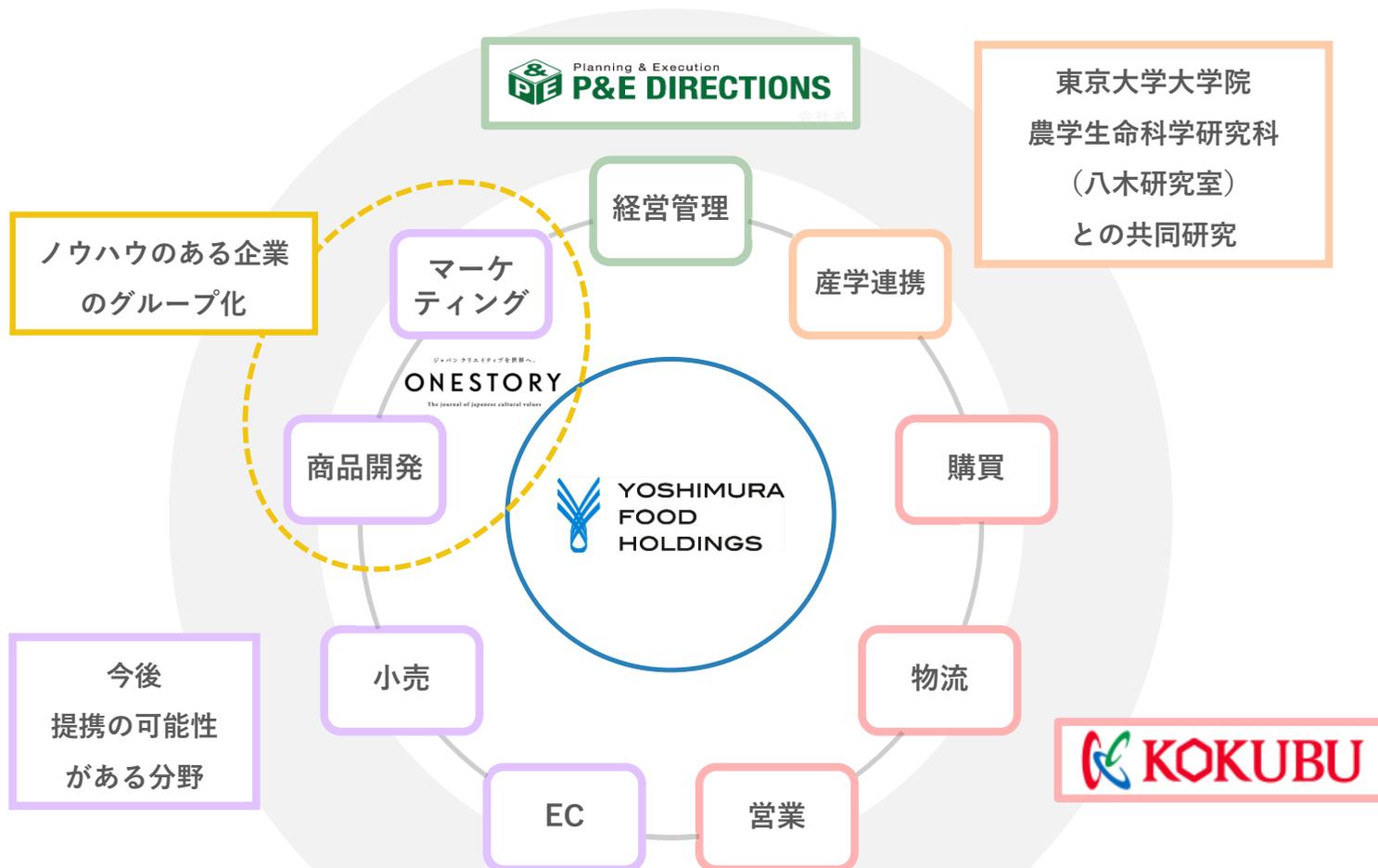
販路拡大・売上増加

傘下のグループ企業

### グループ会社の 有機的な相互補完関係

- 会社の壁を越えて  
機能ごとに横断的組織を構築
- 各機能別の統括責任者が  
グループを横断的に統括
- 各社の持つ強みを  
グループ全体で共有し  
弱みを補い合う

バリューチェーンごとに最適なパートナーとの提携やM&Aを行うことで、より一層の成長を目指す



提携先と一体となり中長期的な成長を実現

後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は  
正に**ESG経営そのもの**であり、ESG経営をより強化することで**持続的な成長を実現**



# グループ会社の概要

## 楽陽食品



### シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

## 白石興産



### 乾 麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

## 桜顔酒造



### 日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

## オーブン



### 冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

## ダイショウ



### ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

## 雄北水産



### まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

## 純和食品



### ゼリー

- 高い技術力と彩の国 HACCPに認定された高い品質管理能力

## エスケーフーズ



### とんかつ

- 「彩の国優良ブランド品」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

## ヤマニ野口水産



### 水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

## JSTT SINGAPORE



### 寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

## おむすびころりん本舗



### フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

## NKR CONTINENTAL



### 業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

## 香り芽本舗



### ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのみわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

## 森養魚場



### 鮎 (アユ)

- 岐阜県内3か所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

## まるかわ食品



### ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピによるぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

# グループ会社の概要

製造事業セグメント

販売事業セグメント

その他

## PACIFIC SORBY



### 水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

## 細川食品



### かき揚げ

- かき揚げ、チヂミ、赤飯等の冷凍食品製造
- 野菜加工、野菜原体の販売

## マルキチ



### ホタテ

- オホーツク海で獲れた、大粒で肉厚なホタテの加工販売（主に輸出向け）
- サケやカニ等も取り扱う

## ヨシムラ・フード



### 業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

## ONESTORY



### マーケティング・コンテンツ開発等

- 地域に眠る「食」や「文化」等を再発掘・再編集し、プレミアムなコンテンツとしてプロデュース

## 十二堂



### ふりかけ

- ソフトふりかけ「梅の実ひじき」等を製造、販売
- 全国に多くのファンを持ち根強い人気を誇る

## 丸太太兵衛小林製麺



### 生麺（ラーメン）

- 生麺、餃子の皮、たれ等調味料の製造・販売
- 得意先は北海道内外のラーメン店

## 小田喜商店



### 栗加工品

- 厳選した良質な地元産の「いわまの栗」を使用した高品質な栗製品を製造・販売

## 林久右衛門商店



### だし

- 明治18年創業経節専門店
- 上質な厳選素材にこだわった削り節、だしの製造加工・販売

## ジョイ・ダイニング・プロダクツ



### 宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

## SIN HIN FROZEN FOOD



### 水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

## SHARIKAT NATIONAL FOOD



### 不動産賃貸・管理

- シンガポールにおいて食品工場兼食品用低温倉庫を所有し不動産賃貸業を行う

## 本資料の取り扱いについて

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。

